

平成26年度以降の硫黄島に係る遺骨収集帰還の取組方針(修正案)の概要

区分	対象箇所数	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
1 滑走路地区等の掘削・遺骨収容	(1) ①滑走路	101	滑走路 30	滑走路 71					
	②壕	3	壕 再1	壕 新1 壕 再1					
	③芝生区域、集水区域	1,637	芝生区域 1,114		集水区域 323	集水区域 200			
	(2) 誘導路・給油施設等	60			誘導路・給 油施設等 17	誘導路・給 油施設 43			
	(3) 庁舎地区	1,559		55	4	23	850	627	
2 滑走路周辺部(庁舎地区を含む)の地下壕探査 ・壕の構造解析及び閉塞地点のボーリング調査 ・改良型地中探査レーダの開発及び同レーダによる滑走路地区の探査 ・面的ボーリング調査									
3 外周道路外側の面的調査・遺骨収容									
4 平成23年度～25年度の面的調査により確認された壕等からの遺骨収容				トーチカ 1					
5 滑走路地区周辺以外の地下壕探査 ・壕の構造解析及び閉塞地点のボーリング調査 ・改良型地中探査レーダによる北飛行場跡地の探査									

※ 庁舎地区については、平成27年度～29年度に掘削調査を一部実施済み。(御遺骨は確認されなかった。)

平成26年度以降の硫黄島遺骨収集帰還事業について

④北飛行場跡地のレーダ探査
(令和2~3年度実施)

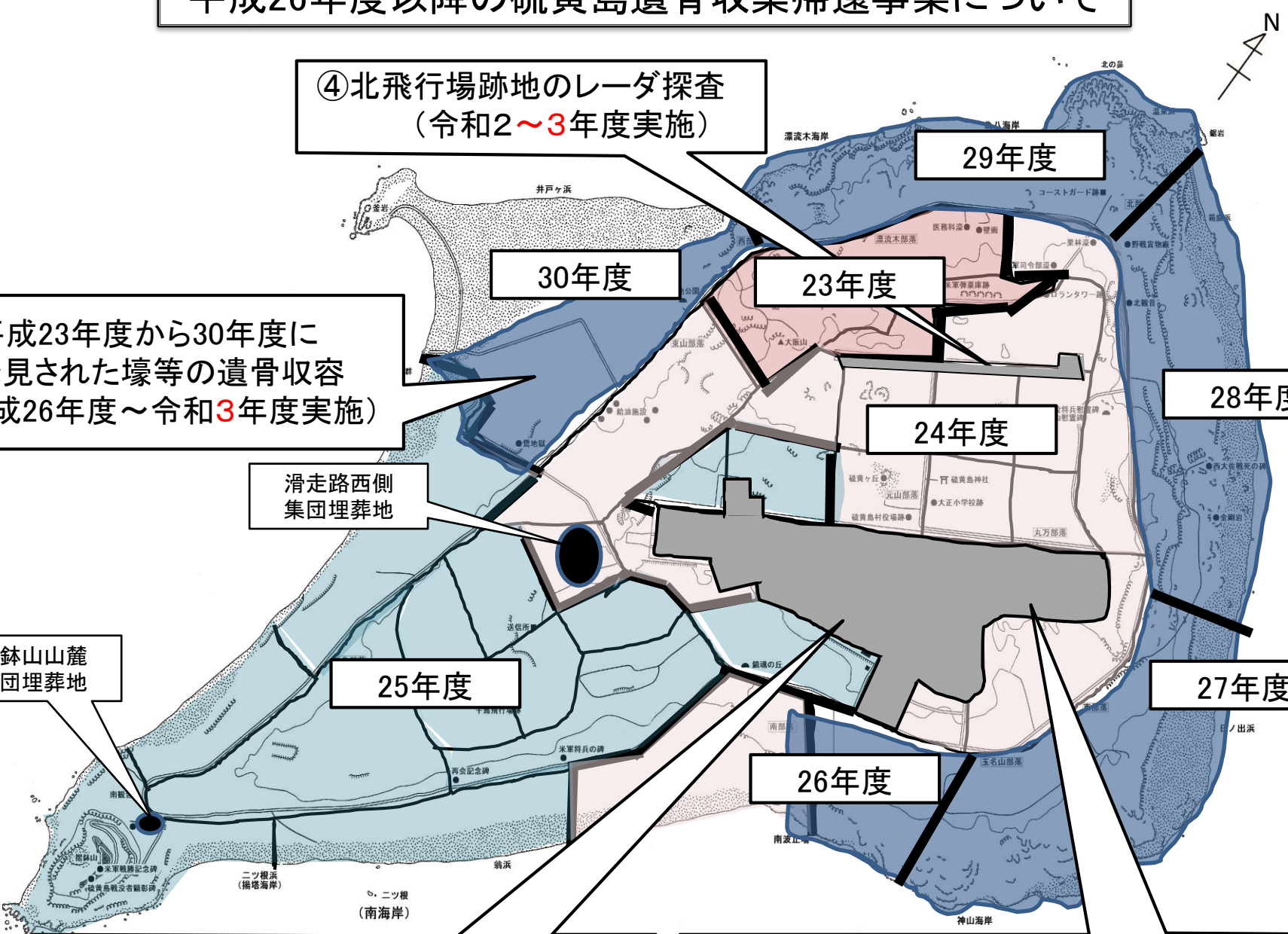
③平成23年度から30年度に
発見された壕等の遺骨収容
(平成26年度~令和3年度実施)

滑走路西側
集団埋葬地

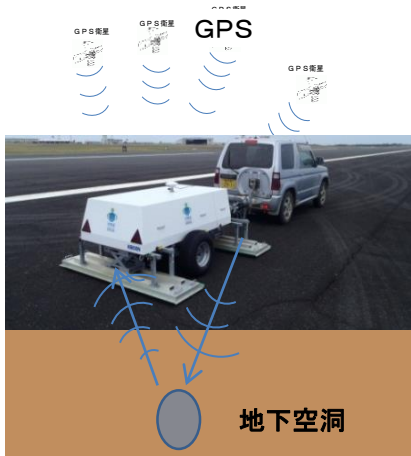
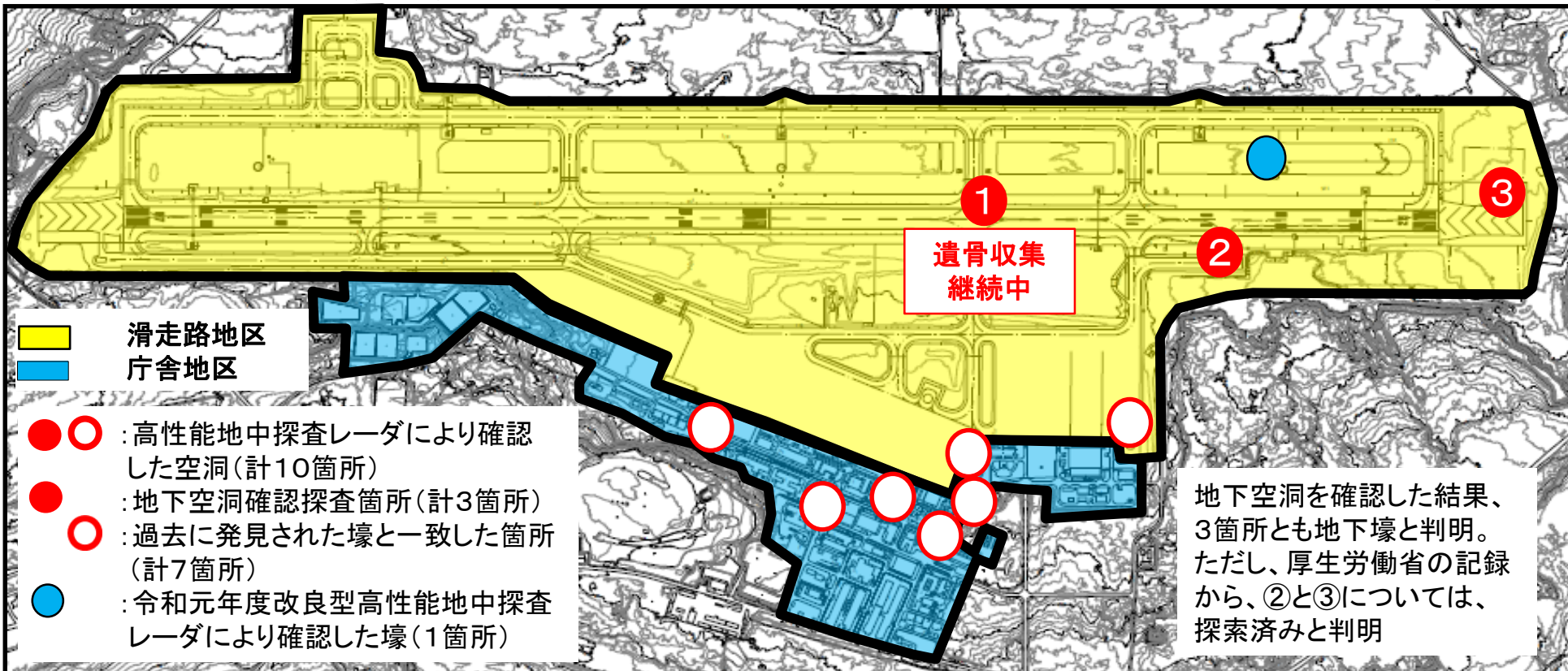
摺鉢山山麓
集団埋葬地

①滑走路地区・庁舎地区の掘削・遺骨収容
(平成26年度~令和3年度実施)

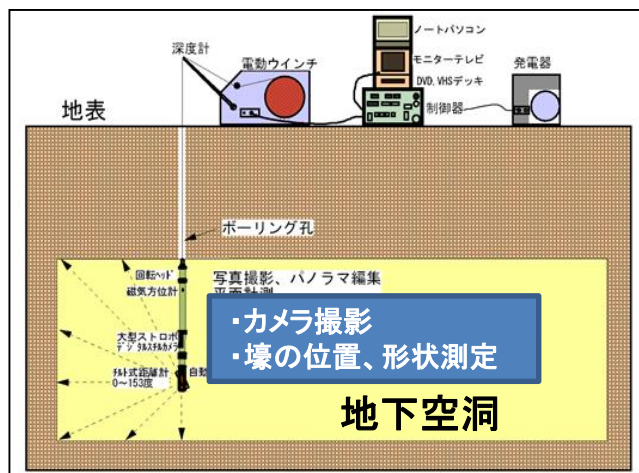
②滑走路地区のレーダ探査・面的ボーリング調査
(令和元年度~3年度実施)



平成24・25年度に実施した高性能地中探査レーダ(地下壕)の調査結果



高性能地中探査レーダ

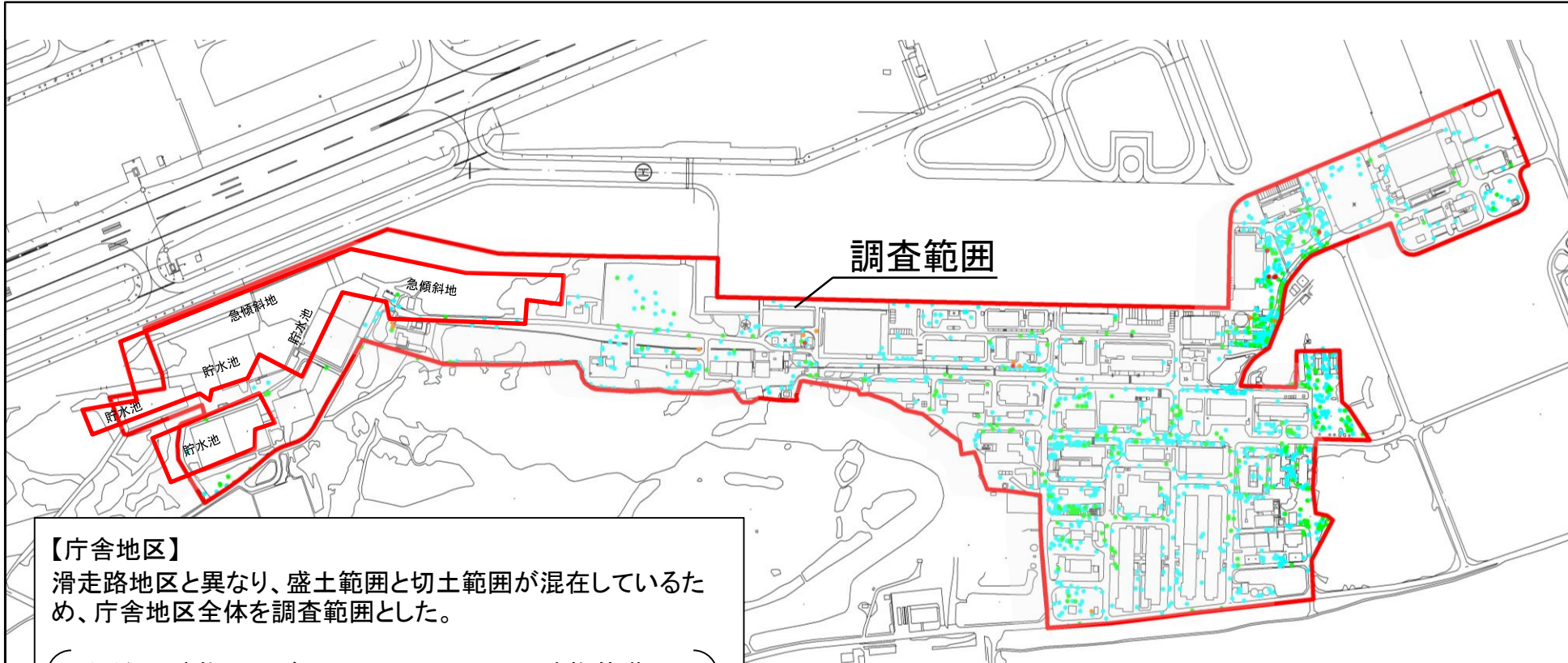


観測孔ボーリング
空洞カメラ観測(内部状況撮影、形状測量)



地下壕①の状況

平成24・25年度に実施した高性能地中探査レーダ(御遺骨)の調査結果について【庁舎地区】



【庁舎地区】

滑走路地区と異なり、盛土範囲と切土範囲が混在しているため、庁舎地区全体を調査範囲とした。

ただし、建物下及びその周囲については、建物基礎の工事段階で、基礎を固い地盤まで掘り下げて確認していることから対象外とした。そのため、道路下や建物間の空地の調査を実施。



高性能地中探査レーダにおいては、直径3cmの円柱状のもの(大腿骨を想定)以上のものを探知した。(御遺骨と石などの判別不可。)

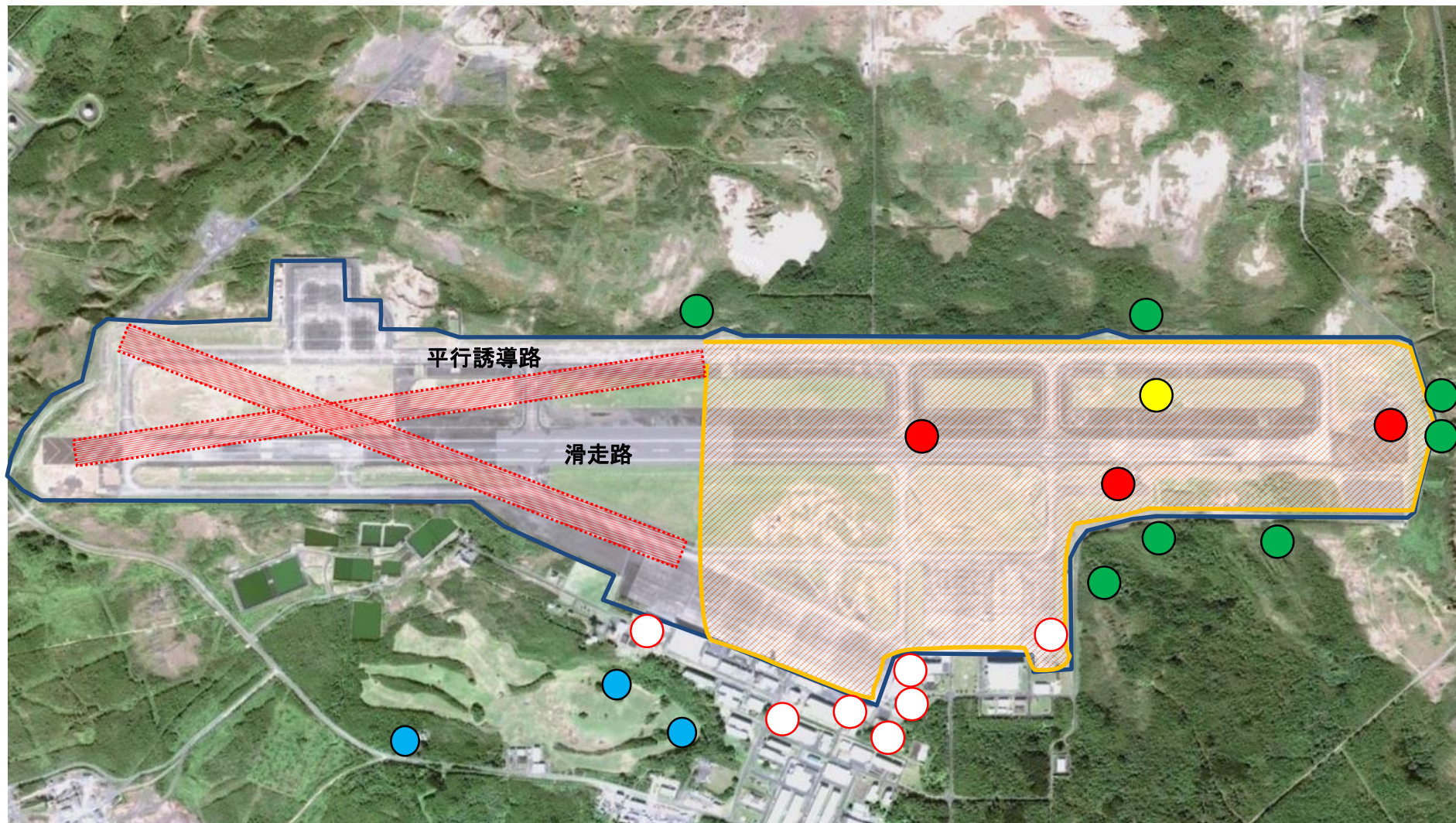
反応箇所数

1,559



凡 例

- : 深度0m~1m 1,207箇所
- : 深度1m~2m 334箇所
- : 深度2m~3m 11箇所
- : 深度3m~4m 7箇所

平成30年度から実施している滑走路地区周辺部の地下壕探査



○滑走路地区下を重点的に調査する方法

1. 滑走路地区及び周辺部で発見されている地下壕の構造解析 ●○ (平成24・25年度に実施した探査レーダにより確認された地下壕)
● (滑走路周辺にある探索済みの主な地下壕) ● (令和元年度に実施した改良型探査レーダにより確認され地下壕)
2. 改良型高性能地中探査レーダによる深さ15m程度までの空洞調査対象範囲 
3. 滑走路地区東側半面の深さ20m程度までの面的なボーリング調査対象範囲 

※旧日本軍滑走路 